

令和4年度市民提案型協働事業追加募集2次審査会会議録

開催日時：令和4年8月25日（木）午前9時45分から11時20分まで

開催場所：狭山市6階603、604会議室

出席者：10名

事務局：自治文化課 課長 主幹 主任 主事補 4名

1. 開 会

2. 委員長挨拶

3. 議 題

令和4年度提案型協働事業追加提案2次審査について

【市民提案型協働事業 3事業】

① 団体名：いりそら

事業名：いりそらマルシェ

《委員からの質問》

- ・11月に第1回目のマルシェを開催するというのだが、どこで開催するのか。
→入曽駅周辺を考えている。
- ・具体的にはどのような分野の方の出店を予定しているのか。
→主にアクセサリーや洋服、バックを販売している方で、インターネット上での販売だけではお客さんとの交流が難しいと考えている事業者の方の出店を想定している。
- ・マルシェで販売したり交流したりすることそのものが一つの文化であるという認識でよいのか。
→フランスでは、マルシェ自体が市民生活の一部として定着している。団体としてもマルシェを地域住民の生活の一部として定着させたいと考えているが、まずは地域住民等の交流の場を作ることが目標である。
- ・ディスプレイの統一を図るといのは具体的にはどういうことか。
→予算上、テントを統一することは難しいが、見たときに会場全体が一体となって見えるようなディスプレイを考えている。
- ・雨天の場合はどのような対応を考えているのか。
→雨天の場合は、基本的に一週間後に延期することを予定している。

- ・雨天で延期になった場合、野菜などの生鮮食品を販売する事業者への対応はどのようにするのか。
→過去に実施したマルシェでは、開催日の二日前の天気予報をもとに開催または延期等の判断をしている。飲食店や農作物等を販売している事業者に対しては、商品の仕込みに入る前に対応するよう心掛けてはいるが、それでも食材が余ってしまった場合については、関係者が買い取り、自身の店舗で販売するなど、食品ロスがないよう可能な限り対応している。

《委員からの意見》

- ・1年に1、2回の開催だけでは文化にはならないと思うので、実験的にまず開催して、一時的ではなく継続的に開催することが良いと考える。

② 団体名：こそだて支援 comono

事業名：音楽を通じた“孤育て”支援

—打楽器のワークショップで作る交流の場—

《委員からの質問》

- ・ワークショップを3回予定しているが、3回のうち1回のみ参加や3回通しての参加は可能か。
→どんな形でも参加可能とする予定。
- ・ツナPANというのは、その場で自分たちが作った楽器を使って演奏するのか。
→詳細については検討中であるが、ワークショップ当日に作成することを予定している。その際、怪我等がないように事前の準備はする予定。
- ・場所については、どのような場所を想定しているか。
→第1回目は、にこにこテラスのスターバックス側の芝生2か所の一角を使用予定。別事業にはなるが、社会実験を行っている場所を活用し、狭山茶とも絡めながらワークショップと両方を楽しめるようにできたらと考えている。第2回目は、入曽地域交流センターの大ホールを使用予定。第3回目は、市民会館の小ホールを使用予定。
- ・保険料についてだが、多数の子どもが参加予定ということであるため、参加者も加入できる保険が良いのでは。
→ボランティアや参加者の全員が加入できる形を検討したい。
- ・この事業を継続していくうえで、参加費についてはどのように考えているか。
→可能であれば参加費は無料で続けていきたいと考えている。予算の都合上、無料で続けることが難しいかもしれないが、参加費をとる形になったとしても高額でない金額で実施したいと考えている。

③ 団体名：ONE-SEVEN

事業名：ONE-SEVEN Market

《委員からの質問》

- ・狭山市駅西口の市民広場で開催予定とのことだが、すでに市民広場でイベントを開催している団体との連携はあるのか。
→このイベントは若い世代をまちづくりに取り込んでいきたいという思いから企画しているが、これまでの歴史を作ってきた団体とも協働という形でマーケットを実施していきたいと考えている。
- ・SDGsについて市民が知ることによってどのような効果があると考えているのか。
→現状、多くの市民はSDGsを「難しいこと」や「遠いこと」と感じているように思うが、マルシェを通じて、楽しみながらSDGsについて知ることによって、「自分でもなにかやってみよう」考える市民が増えることを期待している。また、その取り組みの輪が広がり、このまちに暮らす全員がSDGsの推進に取り組むことにより、大きく環境が変化すると考えている。
- ・子育て世代に向けたイベントということで子育て世代に焦点を絞っていくべきだと考えるが主催者側としてはどう考えるか。
→マーケットを企画する上で子どもたちが楽しめる内容があるかという点を重視している。今回は衣・食・住・遊びという4つのテーマにしたがどのコーナーでも大人から子どもまで楽しめる遊びの要素を取り入れ、子育て層やファミリー層を中心に老若男女みんなが楽しめるマーケットを企画したいと考えている。

《委員からの意見》

- ・3つの団体がターゲットと目的が同じような方向を向いていると感じた。ぜひ団体ごとだけではなく、狭山市の地域のまちづくりに携わっていただいているベテランの方たちから継承していく仕組みをつくり、3団体で連携してまちづくりに取り組んでいただきたい。そうすることで費用対効果も含めてさらにまちづくりの活性化が勢いを増すのではと考えている。

5. 副委員長挨拶

6. 閉 会